

継続看護の実践

短時間で看護記録を書く

スタッフの効率・効果的配置

忙しい現場を変える！ 外来看護の質向上を目指した 業務改善とスタッフ教育



杏林大学医学部附属病院では、業務量に応じた効果的な外来看護配置体制や小集団活動による外来看護業務の改善、外来看護師の継続教育などの取り組みで看護の質を向上させ、さらにモチベーションの高いスタッフを育成しています。本セミナーでは、外来管理者の役割と業務改善について解説するとともに、多様な現場発の取り組みについてご紹介します。明日からでもすぐに活用できるアイデア・ヒントが満載です。

今野里美氏 杏林大学医学部附属病院
看護部 外来看護師長

1994年山口県立衛生看護学院卒業。同年、杏林大学医学部附属病院に入職。病棟勤務(消化器、糖尿病・内分泌・代謝内科)を経て、1999年より外来勤務。2001年糖尿病療養指導士資格取得。同病院の糖尿病チーム活動を推進し、糖尿病教育入院、糖尿病療養指導外来の開設に携わる。2016年より現職。外来看護の質向上を目指し、外来看護体制の構築とスタッフ育成に取り組む。

名古屋	20年10月25日(日)	日総研ビル	[12]
大阪	20年11月15日(日)	田村駒ビル	[9]
岡山	20年12月6日(日)	福武ジョリービル	[13]
東京	21年1月31日(日)	フォーラムミカサエコ	[14]
札幌	21年3月14日(日)	道特会館	[11]

[講義時間] 10:00~16:00

※札幌地区は20年9月13日(日)から21年3月14日(日)に日程変更になりました。

参加料 税込
 一般 19,000円 会員 16,000円
 ※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。
 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数15人。

改善・改革を進めた実際のプロセスに学ぶ

プログラム

- 1. 外来をとりまく社会背景と外来看護の現状**
 - 1) 外来を取り巻く環境の変化
 - 2) 外来看護の現状
 - 3) 外来看護師に求められる役割
- 2. 外来で看護の専門性を発揮するための仕組みと看護記録の活用**
 - 1) 外来における在宅療養支援
 - ・多数の患者から要援助者を捉える仕組み
 - ・外来-病棟-在宅継続看護の促進
 - 2) 外来診療の場面でいう意思決定支援
 - 3) 継続看護に活かす看護記録の工夫
 - 4) 看護専門外来の開設から運用
- 3. 業務量に応じたスタッフの効率的配置**
 - 1) 現場の状況把握と業務量の調査・分析
 - 2) 業務量に応じた人員配置と応援体制
- 4. 外来看護師の教育体制**
 - 1) 新規配置者のオリエンテーションと教育スケジュールパス
 - 2) チームで支える教育支援体制
 - 3) 外来看護師とクリニカルラダーの考え方
- 5. 小集団活動による外来看護組織の活性化**
 - 1) チームの目標管理と業務改善
 - 2) 全員参加の工夫と組織風土づくり

このセミナーの詳細はインターネットで検索!

日総研 14805

検索

関連雑誌

季刊誌(定期刊行物・会員制)

継続看護を担う体質強化 外来看護

B5判 144頁
入会金 3,000円
年間購読料
22,000円(共に税込)

在宅療養支援のスキルを高める!

20年
秋号
特集

- 病棟・外来間の情報共有を充実させる!
継続看護を見据えた退院サマリーの活用
- 患者目線に立った外来づくり
- 超高齢社会における外来看護の役割

令和2年度開催 公認心理師現任者講習会【申請中】

公認心理師の国家資格取得に 挑戦しませんか?

日総研 公認心理師 検索

日総研 接遇大賞

優れたサービス
取り組みを表彰

事例発表会は3月。応募は9月30日まで。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞 検索

お問合せ
ご注文

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索